

とよた地域クラブ活動について ～部活動に代わる新しいカタチ～

豊田市生涯活躍部 スポーツ振興課
文化振興課
豊田市教育委員会教育部 学校教育課

1 部活動が「とよた地域クラブ活動」に代わる理由

少子化の進行

<豊田市の小中学生数>

令和元年 36,042 人
↓
7,300 人以上の減少
令和 12 年 28,676 人

生徒数が減る⇒教員数が減る⇒部活動数が減る

教員の多忙化

<教員の勤務実態>

1 日 平均 11 時間 勤務※

※令和4年度教員勤務実態調査（文部科学省）
部活動は教員の時間外労働により成立
⇒教員の働き方改革が必要

このままでは、こどもたちの選択肢が縮小し、教員も疲弊していく ⇒ 新たな仕組みが必要

2 「とよた地域クラブ活動」の概要

令和8年夏以降、教員に代わって地域の方が指導者となる
「とよた地域クラブ活動」をスタートします

（1）目標

スポーツ・文化芸術活動等を通じ、こどもが地域社会とつながり、
生涯にわたって活躍できる「人づくり」と「まちづくり」を進めます



こどもたちがスポーツや文化活動を
思いっきり楽しんでいる

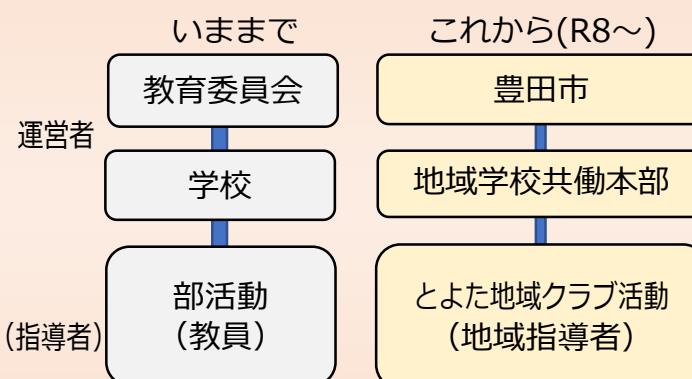


こどもたちが大人とつながることで
地域への愛着を感じ
地域の未来を担う大人へと成長する

（2）活動方針

- ①勝利至上主義に陥らず、生涯スポーツ・生涯学習の視点に立ちます
- ②こどもたちが自ら進んでスポーツ・文化芸術活動等に親しむ力を育みます
- ③こどもたちが様々な体験を通じて将来を考えるきっかけになる活動を目指します

（3）体制



新体制への円滑な移行に向けて

- ◆すでに休日の部活動に地域指導者が参加しています
(600人を超える方が活躍中)
- ◆地域指導者と教員が共に指導する期間を設け、安心して任せられる体制をつくっています

3 とよた地域クラブ活動の具体的なしくみ

多くのこどもたちや保護者の皆様の声を生かした仕組みにしました



今の部活動をそのまま継続してほしい！

基本的に各中学校の部活動の種目をそのまま継続します。さらに、子どものニーズを踏まえ、今までにない新たな種目・活動が設置できる仕組みも考えています。

送迎の負担が心配。今と同じように授業が終わってからそのまま学校で活動できるようにしてほしい！



基本的にこれまでの部活動と同じように、学校で今と同じ時間帯での活動とします。平日も授業終了後、そのままクラブ活動に参加できるようにします。希望する生徒は、通学する中学校に限らず、どの中学校区のクラブ活動でも選択できるようにします。



クラブ活動になると、費用負担が増えるの？
できるだけ費用がかからないようにしてほしい！

誰でも気軽に参加できるよう原則無料とします。これまで学校ごとに徴収していた部費等の徴収は行いません。ただし、保険料や個人持ちの用具等は各家庭の負担を予定しています。

子どもの練習の成果が発揮できるよう、大会やコンクールに参加できるようにしてほしい！



学校部活動を母体とし、市町村が主体となって発足したチームについては今までどおり参加できるため、「とよた地域クラブ活動」は問題なく参加できます。

指導者が教員でないのは心配。指導者の力量を高めてほしい！



指導を希望する方には全員面接を行うとともに、指導方針やハラスメント防止、緊急対応等の研修を必ず受講してもらいます。また、種目ごとの技術指導研修も計画します。なお、指導者には1,600円（時間）の謝礼をお支払いします。

4 スケジュール

